

第 25 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 25 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 29 年 10 月 18 日（水）午前 10 時～11 時 20 分
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	懇談会委員 23 名（欠席 5 名）
傍 聴 者	2 名
次 第	1 3 校のメモリアルについて 2 標準服について 3 その他
資 料	資料 1 3 校のメモリアル検討部会スケジュール 資料 2 第 1 回 3 校のメモリアル検討部会会議録（要旨） 資料 3 3 校のメモリアル調査結果 資料 4 高円寺中学校シンボルツリー「クスノキ」について 資料 5 新校の観覧・メモリアルスペース（図面） 資料 6 （仮称）高円寺学園の標準服の検討について 参考資料 1 高円寺中学校標準服 参考資料 2 平成 29 年度区立中学校 標準服費用一覧 参考資料 3 他区小中一貫教育校の標準服

会長	<p>おはようございます。第 25 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を始めさせていただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>本日、5 名の委員から欠席の連絡を頂戴しております。また、傍聴を希望された方が 2 名いらっしゃいますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、最初に配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>（配付資料確認）</p> <p>議題に入る前に事務局からお話があるということですので、お願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>前回の懇談会の際に、今回の懇談会で説明させていただくことになっておりました特別支援教育についてですが、本日の議題に入れておりません。前回懇談会から本日までの検討状況も含めまして、3 校を代表して杉四小の高橋校長からお話をお願いできればと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
高橋委員	<p>新校の特別支援学級の設置に関しましては、3 校とも未設置校であるということから、前回の懇談会でも「開校と同時に充実した形で進めるには 1 年前倒しで</p>

	<p>設置したらどうか」というご意見をいただきました。現場としても、特別支援教育課とどのように進めていくのがいいかということで、議論をしてまいりました。</p> <p>特別支援教育課からは、杉並和泉学園が特別支援学級を開設したときと同じように、検討委員会を立ち上げ、特別支援学級の教育課程を教育課程検討会のような形でやるのがいいのではないかとご提案をいただきました。</p> <p>現場では、この夏休みに新校の教育課程のたたき台とあわせて、特別支援学級の教育課程のたたき台を作成しました。形としてはある程度できたのですが、このままだと絵に描いた餅に終わりそうだということで、新校の通常教育課程の中身と絡めて、特別支援学級が遊離しないように丁寧に進めていく必要があると考えました。特別支援教育課ともその辺を相談しまして、結局、拙速に進めるのではなく、丁寧に時間をかけてやっていった方がいいという結論となりました。</p> <p>現在、特別支援教育課と現場とで、議論をさらに深めていくとともに、特別支援教育課から提案されている検討委員会についても、どんなメンバーで、どのような中身でやっていくのか、タイムスケジュール等のところも含めて、丁寧に議論して、形として整えてから、懇談会にお示しする方がスムーズだろうということで今、動いております。</p> <p>懇談会で意見として出ているのに回答がないと、進んでいるかどうか分からず、皆さんが疑問に思うかと思いましたので、今の進捗状況としましては、現場で特別支援学級の設置についての具体的な教育課程のたたき台まで作成している段階であるということで、ご報告とさせていただきます。</p> <p>また形としてはっきりした段階で、特別支援教育課からも説明していただくと考えていますので、特別支援学級の設置については、今の回答でご理解いただければと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。いま、特別支援学級の現在までの取り組みというところでお話をいただきましたが、何かご質問ございましたらお願いいたします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、今後とも特別支援教育課とともに進めていければと思っております。新校の特別支援教育の充実につきましては、教育内容そのものの話ということになるかなと思っています。学校全体の教育課程の検討とあわせて、検討方法、検討メンバーなどを特別支援教育課と相談しながら進めていき、その方針が固まったところで、また懇談会委員の皆さんにご報告さし上げたいと思っております。もう少しお時間いただければ幸いです。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>次第1「3校のメモリアルについて」です。</p> <p>前回の懇談会では、3校のメモリアル検討部会委員の構成について報告いたしました。その第1回目の検討部会が9月29日に開催され、各校のメモリアルの保存方法等についてご検討いただきました。検討状況等について、事務局からご報告をよろしく願います。</p>

<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>第1回検討部会の資料も含めまして、検討状況等をご報告いたします。</p> <p>まず資料1ですが、スケジュール表になります。懇談会の日程も含めて、今後のメモリアル検討部会の開催予定ということになります。</p> <p>第1回目の検討状況を本日の懇談会でご報告をさせていただき、皆様から出された意見を踏まえて、予定では12月に第2回目の検討部会を開催しまして、具体化に向けた検討を行う予定です。29年度内にメモリアルについての大枠の方向性を定めていきたいと思っております。</p> <p>平成30年度では、メモリアルの映像化だったり、高円寺中のシンボルツリーでありますクスノキの活用具体化などの取り組みを進めていくスケジュールイメージになります。</p> <p>次に資料2です。これは第1回目の検討部会での意見要旨をまとめた資料となります。内容につきましては、後ほどご紹介させていただきます。</p> <p>資料3から5は、検討部会時から一部修正はございますが、検討部会の際に活用した資料ということになります。</p> <p>まず、資料3ですが、3校に現存するメモリアルの候補をリストアップしていただき資料化したものとなります。</p> <p>資料4は、校庭整備工事の際に伐採することが決まっている高円寺中のシンボルツリーのクスノキの活用方策について、部会で検討するため用意した資料となります。</p> <p>資料5は、新校舎の1階と5階の平面図となります。</p> <p>1階の平面図の「小アリーナ上部」と書いてある部分がありますが、その北側に、「観覧・メモリアルスペース」という細長い横長の形状の部屋がございます。大体面積としましては約80平米ほどございます。</p> <p>次に5階の平面図の「大アリーナ上部」と書いてある部分の廊下を挟んで北側に「郷土資料室」がございます。</p> <p>メモリアルとして残すものにつきましては、この2つの部屋に振り分けながら保存していくこととなりますので、今後、その検討も行っていく予定です。</p> <p>それでは、資料2をご覧くださいまして、どのような意見が出たかをご紹介しますと思います。</p> <p>○の1つ目、「3校のメモリアルについての意見」についてです。</p> <p>資料3のメモリアル候補を確認し、共通してあるメモリアルを展示や保管する場合は、3校とも同じ取り扱いとした方がいいという意見がでました。</p> <p>また、校旗、校名板、校歌の歌詞板は、観覧・メモリアルスペースにそれぞれ3校のコーナーを設けて展示する方がいいのではないかという意見がでました。</p> <p>次に、導入を予定している資料を入れる展示ケースの上部に3校の沿革やその歩みがわかるものを掲示するのがいいのではという意見がでました。</p> <p>また、学校の校長室にある歴代校長の写真の取り扱いについては、小さくするかデータ化するかの保存方法がいいのではないかという意見がでました。例えば</p>
--------------------------	---

並べて掲示する場合は、各校で写真の大きさが違うので、大きさを揃えるなどの一体感を持たせるようにしたらいいのではないかという意見がでました。

それ以外のメモリアルについては、観覧・メモリアルスペースに展示するものと、郷土資料室に保管するものと、映像として残すものを3校で相談して決めて、取りまとめたものを次回の検討部会で提案し、さらに検討を深めていくこととしました。

○の2つ目、「メモリアルの映像化についての意見」です。

懇談会でも杉並和泉学園に視察に行ったことがあったかと思いますが、その際に図書・ラーニングセンターという部屋をご覧になられたと思います。

そこに3校の各年代の歴史だったり、地域の方のインタビューだったり、といった様々なコンテンツを子どもたちが検索できるような情報端末方式の形でメモリアルを残したのですが、杉並和泉学園に現状を確認したら、機器が壊れてしまうとかの心配もあって、現在はしまっているような状況とのことでした。

そのような状況も踏まえて検討した結果、新校に設置するメモリアルの映像化コンテンツに関しては、モニターにスライドショー方式で映像を流して、例えば行事などで、校舎をご覧になっていただく際に、観覧・メモリアルスペースに設置して観ていただくような形がいいのではないかという意見がありました。

また、メモリアル映像は、当然映像媒体として残りますので今後、児童・生徒がタブレット端末などを使って郷土を学ぶ際に、学習教材として活用できるような形になるといい、という意見がありました。

映像として残す方法として、特に卒業制作の作品などは壁の高い位置にあたりしますので、プロの写真家に頼んでしっかりと写真に残すなど、方法についても検討していこうという意見がありました。

○の3つ目「観覧・メモリアルスペース、郷土資料室についての意見」です。これは観覧・メモリアルスペース、郷土資料室に既存のメモリアルをどのように振り分けるかなどの検討です。

今の段階で、新校に設置する予定の展示ケースは、高さが180cm位の大きさのガラスケースなのですが、あまり高いと小学生が見えないということもあるので、例えば小学生でも見られるような大人の腰ぐらゐの高さのショーケースがいいのではないかというような意見がありました。

郷土資料室は、5階にあるため、保管庫的な役割になりやすいので、郷土資料室に持っていくものについてはよく検討する必要があるという意見が出ました。また、郷土資料室は、中学校の教材管理室と共用となりますので、郷土資料室に保管する物品が多くなると、教材がその分置けなりますので、その点でも郷土資料室に置くメモリアルについては、よく精査する必要があるという意見がありました。

裏面になりまして、「シンボルツリー クスノキに対する意見」になります。クスノキの伐採後、製品に加工するまでの間には、乾燥や消毒のための時間が必要となりますので、クスノキの加工品を新校開校時に展示できるように、少し前

倒して伐採してはどうかという意見がありました。クスノキを早く伐採することにより、避難スペースがさらに確保できるというような意見もありました。

また、例えばクスノキに思い入れのある在校生に、小さい木材に加工したクスノキを使って、作品を作ってもらってはどうかという意見が出ました。

実際にクスノキを加工するという前提で、どの程度加工できる素材がとれるか、また、消毒・乾燥の必要期間などについて、しっかり押さえてからでないという意見が出しづらいという話もあったため、樹木医等の専門家に調査してもらい、その結果等を聞いてから検討していくということとなりました。

あと、クスノキの継承については専門家に相談して、挿し木により確実に残していけるよう取り組んでほしいという意見がありました。

クスノキに関しましては今ご紹介したような意見もいただきましたので、もう少し早めに調整できればよかったのですが、本日の午後に、樹木医の資格を持った区の公園緑地事務所の職員が来校し、クスノキを調査いたします。木づち等で叩くと大体その木の健康状態がわかるということですので、クスノキの状態を診てもらおう予定です。

樹木医の職員に相談した電話の中で、樹木内の水分が少ない冬場は伐採の時期としては適しているということ。夏場は水分が樹木の中に多い時期で、伐採すると腐りやすいそうなので、伐採時期は注意しなくてはいけないということ。また、クスノキの材質は、ケヤキ等に比べて柔らかくて加工しやすいという特性があり、刃が通りやすいということもあって、昔から彫刻の材料として、例えば木の仏像などをつくるときに、多く用いられているとのことでした。

また、クスノキは乾燥も非常に難しい面があって、どうしても乾燥の期間に歪みだとかひずみが出て、製品化した後であっても変わってしまうような特性も持っているそうです。製品を考えるときには、考慮が必要だと思っています。

クスノキの遺伝子を継承していく方法についてですが、一般的にはクスノキの実が初夏ぐらいの時期に実り、そこに出来る種から育てた方がうまくいくという話がありました。ただ、決して挿し木ではダメという訳ではないので、本日、その辺のノウハウについても聞いておきたいと思っています。

まず、現在のクスノキの健康状態を把握しまして、加工が可能な材料をどの程度確保できるか。また、消毒・乾燥期間がどの程度必要かという情報を整理しまして、次の検討部会での検討に活かしていこうと考えております。

また、10月16日に、学園章のデザインの関係で女子美術大学の短期大学部を訪問した際に、造形学科助教授の先生と話をすることが出来ました。その方は彫刻を専門にされており、これまでもクスノキを使った作品も多く手がけている方でして、我々がクスノキの加工を検討していることを聞き、ご提案をいただきました。

提案の内容としては、現在のクスノキは根の部分が膨らんでいるのですが、それと大きい枝も含めた今のフォルムを生かした大型の美術品のようなイメージのものを提案していただきました。

	<p>具体的には、クスノキの板材の上部に時計を配して、製品自体が置き時計になるような形で、下部はクスノキの根の部分の広がりをもっと生かして、子ども達が座れるベンチにするというようなご提案でした。</p> <p>この提案内容は、12月に予定している次回の検討部会で議題に出していこうと考えております。懇談会でクスノキの活用の方向性が出れば、内容次第にはなりますけれども、女子美術大としてもご協力いただけるという前向きなお話もいただいたところでございます。</p> <p>以上、第1回検討部会の検討状況をご報告させていただきました。これから次回の検討部会に向けて、委員の皆様からご意見を頂戴できればと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>検討部会の皆さん、ありがとうございました。最初の会ということもあり、大きな骨格的な検討をしていただいたというふうに思っております。</p> <p>では、いまご説明いただきました「3校のメモリアルについて」、委員の皆さんから意見を伺っていきたいと思います。まず最初に、会議要旨を読んでいただき、何かご意見ご質問があれば、まずお聞きしたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。</p>
黒川委員	<p>資料3の3校のメモリアルの一覧ですが、ここからまた追加して増えていく、または減るという可能性もありますので、その辺はご理解いただければと思います。</p>
会長	<p>了解しました。</p> <p>他に委員の皆さんからの追加の希望や、第1回検討部会についてのご質問ご意見はよろしいでしょうか。特にクスノキについてのご意見やご質問等あれば伺っておきたいのですが、いかがでございましょうか</p> <p>(意見なし)</p> <p>では、概ねこのような方向で進めていく形になろうかなと思います。クスノキについては、いずれにせよ新校が開校する前には、どうしても伐採する必要があります。伐採の時期としては冬が最適で、メモリアルとして加工品を作るために乾燥の時間が必要という話がありましたので、平成30年度の冬に伐採してはどうかというところですが、伐採の時期についてのご意見いかがでしょうか。平成30年度の卒業式にはクスノキはないことになりましたが、特にご異議はございませんか。</p>
委員	<p>今度、高円寺中学校の70周年記念式典があると思いますが、クスノキの伐採時期について、その場ではお話されるのでしょうか。</p>
会長	<p>確かにその場でもお伺いしておいた方がよいと思います。</p>
委員	<p>在校生はもちろんですが、卒業生にも思い入れのある方もいらっしゃると思うので、その辺は聞いておいた方がよいと思います。伐採の後、来校して「クスノキがない」と言われると困ると思いますので。</p>
会長	<p>了解しました。本日の懇談会で、そのような方向でよいということであれば、</p>

	<p>11月25日に予定しております70周年記念式典と祝賀会においていただいた方には私の話の中に織り込んで、伐採について触れていきたいなと思います。</p> <p>他にはご意見ございませんか。</p>
委員	<p>先程の説明の中に、伐採してからクスノキの乾燥に時間がかかるとありましたが、私の身内にそういう木を扱っている者があり、聞いたことがあるのですが、乾燥には我々が考えている以上に時間がかかります。それこそ何年という時間がかかると思います。</p> <p>先程ご説明あったように、乾燥をさせないとひび割れなどが色々起こってしまうと思いますので、30年度の冬に焦って伐採せずに卒業式まで残して伐採しても時間的には問題ないと思います。</p> <p>出来るだけ良いものを作るのであれば、なるべく乾燥時間を長くして、しっかり乾燥した状態で加工すれば、良いものがきつと残ると思うので、その辺を検討してみてくださいませか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>今日、樹木医にも乾燥期間について伺おうとは思っていますが、女子美の助教授もクスノキを扱われた作品をたくさん作られているものですから、クスノキを作品にする場合には実際どの位、乾燥期間が必要かという質問をしてみました。</p> <p>助教授のお話では、特に決まりはないみたいで、例えば本当に乾燥期間が欲しいとなれば、例えば10年とか、そういう期間置く方もいらっしゃるし、そんなに待てないということであれば、1年の乾燥期間で作品にすることもあるそうです。ですから、そこはもう作る人の判断なのだというお話でした。</p> <p>加工品は、開校後にメモリアルスペースに置くものになりますので、どういふものに加工して残すかというところも含めて、スケジュール感を考えていかなければいけないのかなと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見はいかかでしょうか。</p> <p>クスノキについては、卒業生の皆さんから創立当時からずっとあったということをお話をいただいています。</p> <p>本日の樹木医の診断も踏まえて、検討部会にまたお返しするようになるかと思うのですが、乾燥期間が10年という長いかなという感じがします。できましたら、開校後すぐ位のところにそういうメモリアルのものがあつたほうが良いと個人的には思っています。</p> <p>その辺は、専門家の診断も踏まえて、検討部会の皆さんで再度検討していただき、また懇談会にご提案いただければと思います。</p> <p>また、黒川先生からもございましたが、メモリアルについては各校でまた精査していく段取りですので、そこを踏まえてもしご意見などが出来ましたら事務局までお知らせください。</p> <p>それでは、次の議題に参りたいと思います。次第2「標準服について」です。標準服については、今回が最初になると思いますが、標準服の定義を先に確認しておきたいと思つています。</p> <p>杉並区内の中学校は標準服があるところ、ないところ、多々あるのですけれど</p>

	<p>も、標準服と制服は、若干扱いが異なっております。標準服は、着用について強制ではないものの、学校生活において着用することがふさわしいという位置づけで指導をしながら勧めているというような服装でございます。最近開校しました小中一貫教育校でございますが、小中で同じ標準服を採用する学校が多いという傾向が見られると思っております。</p> <p>また、標準服の採用によって小中間の一体感や連帯感を高めるというようなところを狙って、小学校でも導入しているという話も伺ったことがございます。</p> <p>ちなみに現在、高円寺中学校は、男子が詰め襟、女子はセーラー服の標準服を着用しております。では、事務局から標準服についてご説明いただけますでしょうか。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>本日はこれからこの標準服導入の可否について検討していきたいということで、キックオフ的な内容の資料をご用意させていただきました。</p> <p>資料6の「はじめに」というところをご覧ください。いま会長の話の中にもありましたが、近年開校した小中一貫教育校につきましては、小学部・中学部と一緒に標準服を取り入れるという学校が多く見受けられます。</p> <p>対外的には、一つの学校として統合したということを経営に広くアピールできること、児童・生徒自身についても、学校への所属意識だとか小中の一体感を高めることが出来ること等が、その導入の主な理由であると考えています。今回、新校においても標準服の導入の可否について検討を開始していきたいと思っております。</p> <p>2番の「現在の標準服」というところでは、現在、杉四小・杉八小は私服で、高円寺中はいま会長がお話しになったように、詰め襟型の標準服を採用しているところでは、</p> <p>参考資料2にございます標準服一式の金額ですが、高円寺中の標準服はサイズが一番大きいもので、男子が3万900円。女子が3万800円という値段になっております。</p> <p>具体的な現在の高円寺中の標準服としては、参考資料1をご覧ください。販売カタログのような資料になっておりますが、これが高円寺中で採用している標準服ということになります。</p> <p>杉並区内の小学校につきましては標準服を導入している学校はなく、全て私服でございます。参考資料2にあるとおり、区立中学校23校中、半数ちょっとの14校が標準服を採用しているということになります。</p> <p>参考資料2、校名横の「標準服」という欄に「A」と「B」が入っていますが、「A」に関しましては高円寺中と同じように詰め襟、セーラー服型。「B」はブレザー型を採用しているという学校になります。</p> <p>3番の「過去の事例」では、平成27年度に開校した杉並和泉学園の例をあげております。旧新泉小・旧和泉小には標準服というものではなくて、旧和泉中では小中一貫教育校の開校前の平成23年度に私服からブレザー型の標準服を導入した経緯があります。</p>

杉並和泉学園もこの懇談会と同様に協議会というものがあり、その下に標準服検討部会を設置しまして、まず、中学部については旧和泉中の標準服をそのまま新校に引き継いでいくということを決めました。

次に、小学部の標準服の採用について、3校の在校生の保護者、そして近隣の就学前施設である幼稚園・保育園、合計4園の保護者に向けて、標準服採用についてのアンケートを実施いたしました。アンケートの結果は、約6割の保護者が、小学部については標準服を導入しなくていいという結果になり、小学部の標準服の導入は見送ったという経緯があります。

ただ、その中でも、就学前の児童の保護者だったり、低学年の保護者の回答には、小学部の標準服導入を希望する声が多かったということもございました。

裏面に行きまして、4番目の「杉並和泉学園の標準服検討部会で出された意見」について、紹介させていただきます。

まず、中学部の標準服の検討過程の中で、小学部に標準服を導入するのであれば、中学部の標準服とデザインのバランスを考慮する必要がある。という意見がありました。

あと、小学部の標準服の導入可否について検討した際には、小中一貫教育校の一体感とか、その学校の児童・生徒というところでの規範意識の形成や、地域からの見守りが期待できるというような意見がありました。

あとは、小学生の活動を考えると服が汚れるのではないかな。長期間になるので、途中での買い替えが必要になってきて負担が大きいのではないかな。公立の小学校であるので、例えば兄弟姉妹がいる家庭に関しては経済的な負担が重くなるのではないかななどの意見がありました。

また、高学年から標準服を導入すると、中学部に行く児童が増える効果があるのではないかなという意見もありました。

他には、例えばフルセットだと値段的な問題もございますので、ブレザーや帽子だけだとか、部分的な導入も可能なのではないかなという意見が出されていたということでございます。

5番の「他区の小中一貫教育校の事例」です。最近開校しました豊島区、品川区、渋谷区、練馬区の小中一貫教育校の事例になります。この渋谷区立渋谷本町学園は、この懇談会でも視察に行っておりますので、行かれた方は何となくイメージが湧かれるのかなと思います。豊島区の小中一貫教育校だけは杉並和泉学園と同様に小学部は私服、中学部は標準服となっておりますが、残りの3区の小中一貫教育校は、小中ともに標準服を導入しております。

参考資料3では、今ご紹介したそれぞれの学校がどのようなデザインの標準服を導入しているのか、事例を載せております。

最近の流行りかも知れませんが、ブレザー型を導入する傾向があるように見受けられます。ただ、小中で標準服を導入しているというところで、それぞれのデザインのバランスを考慮しているような印象がございます。

6番目の「標準服導入の可否についての検討方法」としまして、いま事務局で

	<p>は、この懇談会をもとに標準服検討部会を設置することを考えております。</p> <p>構成としましては、3校の校長先生の中から代表で1名入っていただき、副校長2名と懇談会委員7名ほどで考えております。記載にある通り、まずは在校生と区域内就学前施設の保護者に向けてアンケートを実施するところからやっていきたいと思っています。</p> <p>事務局で作成したアンケート案を検討部会で校正していただいた後、アンケートを実施します。集計結果をまとめ、保護者の意見の傾向なども見ていただき、その内容を懇談会に報告して意見交換をするというような流れを今考えています。</p> <p>アンケートの結果によっては、標準服を導入しないということも考えられますが、もし導入するという方向になった場合については、この検討部会で引き続き、例えばデザインなども含めて検討するような形にしていければと考えております。</p> <p>標準服の検討について積極的に引き受けたいという方がいらっしゃれば、ぜひご協力いただきたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。標準服についての議題は、本日最初という話になります。今の説明について、ご質問やご意見はございますでしょうか。他区の学校の例であったり、区内の学校の例をご説明いただいたのですが。</p>
委員	<p>標準服はやはり必要だと思います。今年、うちの孫が小学校に入学したのですが、女の子なので毎日の洋服選びがとても大変なんです。例えばブレザーだけでも標準服があったらそれで済むので、朝の洋服選びの時間がすごくもったいないと感じます。ましてや中学生になるとオシャレになりますから余計だと思います。だから、基本的には標準服を作っていただきたいと思います。例えばフルセットではなくても、上着だけでもあったらいいかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にはございませんか。標準服についての考え方で、ご質問でも何でもいいのですけれども。</p>
委員	<p>質問です。参考資料3に他校の標準服が載ってますけれども、こちらの中学校と小学校は、リニューアルされた標準服ですか。それとも、既存の標準服のままのところもありますか。もし、その辺がお分かりでしたら、教えていただければと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>恐らく小学部のほうは元々は標準服がなかったのだと思います。中学部のほうのデザインをそのまま採用して小学部のデザインを合わせたとか、そういう事例もあるのかも知れません。申し訳ありませんが、そこまで事務局のほうでも下調べができておりません。</p> <p>見た感じですと、標準服を導入すると決めた後、小中のバランスを取りながら新しくデザインされたところもあるのかなと。そんなような印象を持っています。ただ、正確には把握できておりません。</p>
委員	<p>小学部・中学部が一緒の標準服になると、やっぱりブレザー型が比較的多くなっているという感じですよ。個人的な意見ですが、うちの娘たちが高円寺中を</p>

	<p>卒業したのですが、セーラー服の標準服がとても珍しいという事もあり、本人たちはセーラー服がとても好きでした。</p> <p>他の委員もおっしゃっていたのですが、ずっと昔から高円寺中の標準服はセーラー服だったので、卒業生にとっては思い出があると思います。</p> <p>あと、標準服については、中学生は高校の説明会に行ったり、受験するときに必要なものであった方がよいと思います。私服の学校の生徒で、受験の時に制服もどきを着て受験する子もいるくらいなので。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>やはり標準服があると、入試の際に着て行けるとか、例えば法事などがあつたときに着ることができるなど、そういうメリットがあると言われていました。</p> <p>あとは、私服の場合だと洋服を多数をお持ちになっているお子さんと、それほど持っていないお子さんとで、家庭の経済状況が見えやすくなる場所があります。一般的には、標準服を導入することによって、そういう場所が見えにくくなると言われております。</p> <p>一方で、今は以前よりも値段が安く良質な服を買える時代にもなっていると思いますので、そういうところも加味しながら検討していかなくてはいけないと思っていますところでは。</p>
委員	<p>うちの娘もやはりセーラー服がよくて高円寺中を選んだという経緯があります。女子生徒などは特に受験とかも含めて、制服によって学校を選ぶということが割と上位に来ているらしいです。</p> <p>私も高円寺中に通っていたのですが、詰め襟が応援団のようで格好よく、今でもセーラー服と詰め襟の高円寺中に通えてよかったなと思っています。</p> <p>今この資料を見て思ったのですが、高円寺中の標準服にあわせて、小学部の標準服を作ったときに、小学生用のセーラー服というのがあるのかなと思いました。一体性を考えると、小学部も詰め襟とセーラー服になると思うのですが、そのような小学生用の標準服があるのか、あまり聞いたことがありません。</p> <p>別に小中で一体性を持たなくてもいいかなと思いつながらも、経済的な負担を考えたときにそのまま並行して着れるという点では、当然同じような標準服にするべきなのかなと思います。また、働きだしたらブレザーとネクタイは当たり前になってくるので、ブレザーになってしまうのは、どうなのかなと思いました。</p> <p>要はセーラー服と詰め襟を維持しながら、小学部で標準服を導入出来たらいいかなと思います。この資料を見て、小学生が標準服を着ている姿がすごくかわいいと思うので。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>本日の資料をつくる上で、標準服を扱っている会社などに、さまざまな情報提供をいただきました。その際に確認したのですが、事例としては少ないのかも知れませんが、小学校の詰め襟型の標準服だったり、セーラー服型の標準服もあります。</p>
委員	<p>いま別の委員から、学習院初等科などがそうらしいと伺いました。それならば、小学部はそうすれば良いかなと思いました。</p>

会長	ありがとうございます。その他のご意見はいかがでしょうか。
委員	<p>意見です。恐らくその標準服を採用するとなると、一体型の小中一貫校ということで、児童も生徒も同じようなデザインを選んでいくかと思うのです。それはそれで良しとしまして、先ほど事務局のほうから、小学部の標準服がそのまま着ていければ、中学部に進学する子が増えるのではないかというお話もありました。他の委員からも、標準服というのは学校を選択する上で、かなりウエートを占めるのではないかというお話がありました。</p> <p>現在の杉四小と杉八小の学区域と高円寺中の学区域が違ってきますよね。そうになると、小学校はこの高円寺学園だが、中学校は別の学校になるということも考えられます。そういうことになった場合、他学区にも影響が出てくると思うのですね。そういった点もやはり考慮に入れながら標準服導入について考えていかなければならないかなと、意見させていただきます。</p>
会長	ありがとうございます。その辺は避けて通れない部分であると思います。他に ご意見ありますでしょうか。
高橋委員	<p>懇談会の委員の皆さんに質問したいことがあります。いま現在の標準服が好きであるという話がありましたが、私も地域のいろいろな方と話していて、高円寺中はセーラー服でないとダメというような話を聞きます。伝統的にそういう考えがあるような雰囲気なのですが、今まで標準服を変更してブレザーを導入しようとか、そのような話が出たことはあったのでしょうか。</p> <p>高円寺中の標準服に対して、地域の思い入れが結構強いかなという印象を持っているのですが、何か情報やご意見がありましたら、その辺を少しお聞かせいただきたいと思います。</p>
委員	逆にセーラー服が嫌だという話は聞いたことはないですね。
会長	そのあたりのところで、何か情報がありましたら事務局のほうにお知らせいただければと思います。他はいかがでございましょうか。
委員	質問なのですが、いま小学校に通っている児童に対し、小学校のほうで、「こういった服装が標準である」というような指導はしているのでしょうか。自由なイメージはあるのですけども。
高橋委員	例えば連合音楽会などに出るときには、上は白で下は黒系の服装で、ある程度揃えましょうという話はしています。あと、卒業式に在校生の5年生が出る場合、短パンにTシャツみたいな服ではなくて、きちっとした格好という訳ではないのですけれども、式に出てもいいような格好ということで指導します。
委員	<p>いま子どもが幼稚園に通っていますが、幼稚園は動きやすい格好というのが基本で、規定というほど強くはないのですけれども、フード付きの服は危ないから着ないようになどの、生活指導みたいなものがあります。</p> <p>例えば標準服を導入しないにしても、小学校でその様な、ある意味ガイドライン的なものを定めて、指導をしていくということは、今後あり得るのでしょうか。</p>
教育施設計画	私にも小学生の娘がいますが、低学年のときなんかは、例えば洋服を買いに行

推進担当係長	<p>って、フードが付いている服を気に入ったとしても、「フードが付いていると学校に着ていっちゃだめなんだよ」なんていう話をしていたので、学校で指導があるのだなと思いました。例えばいたずらで引っ張られたりしたときに怪我するといけないからという事なんだと思います。</p> <p>ですので、いま特に私服に関して特別な制限は設けてはいないにしても、今後も同じような考え方でいくのかなと思っています。</p>
会長	<p>標準服がない中学校であっても、おそらく校則などに「中学生らしい服装」という一文をどの学校でも入れていると思いますし、式典のときは、皆それなりの格好をちゃんとしてきます。ですので、式典用の服も別にちゃんと持っていると思いますし、特に指導していないのですが、しっかりしていると感じます。</p>
高橋委員	<p>1年生も入学式のときには基本的に何か式典用の礼服を着てきますね。</p>
委員	<p>参考として言いますが、私の子どもは、都立の高校と、大学で両方とも制服がありました。ただ、普段は着ていなくてもよく、何かイベントの時などに制服を着てきなさいというルールだったらしいです。</p> <p>なので、制服はすごく楽でしたね。着なくてはいけなくてかではなくて、制服があることによって、イベントのときに何着ていくか考えなくてよかった。珍しいルールですよ。経済的な負担というのはまた別の問題として、制服があると非常にそういった部分がメリットだということをお伝えしておきます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>質問です。今日は学務課はいらっしゃいませんが、この標準服などを購入する費用の助成というのはあるのでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>就学援助制度というものがあります。小学校の入学時と中学校の入学時に、入学準備金という名目で支給されます。小学校1年生では、2万700円。中学1年生では、2万2,900円です。就学援助の対象になる世帯の方であれば、この費用を標準服購入に充てることができます。</p>
委員	<p>参考資料3の品川区立の学校の小学部の標準服で帽子がありますが、帽子が標準服になると、いま杉並区内の小学生は、黄色い帽子を被って登校していますが、黄色い帽子は被らなくなるのですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>そうですね。帽子まで考えが及んでおりませんでした。その辺も調べて検討部会のお話してできるようにしたいと思います。</p>
黒川委員	<p>多分、1年生のときは黄色い帽子を被って、2年生から標準服の帽子を被りましょうという形になるかなと思いますね。</p>
高橋委員	<p>今も1年生は黄色い帽子で、2年生になったら好きな帽子でいいということになっています。</p>
委員	<p>小学校・中学校の標準服では、女子はスカート、男子は長ズボンや半ズボンですが、最近では、さまざまな社会情勢の影響で、女子もズボンが選べたりする高校があることを聞いたことがあります。</p> <p>女子もズボンかスカートか、好きな方あるいは両方を、季節などによって選択</p>

	<p>できるといいと思います。あと色合いでも、女子は赤で男子は青とか、そういった風潮があります。いまはジェンダーフリーな時代であると思うので、これからの学校は少し自由というか、個人に選択の余地があるようなものにしてほしいなと思います。デザインなどは、実際に標準服を導入するかしないかという話し合いの後になるとは思いますが、そういったことも考えていければと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>とても大事な視点だったと思いますので、ぜひ検討する際にはそういう視点も考えてやっていけたらいいなと思います。</p>
会長	<p>ほかはいかがでございましょうか。</p> <p>いろいろご意見を頂戴いたしました。先ほど事務局から検討部会の委員についての話がありましたが、参加してもいいという方がいらっしゃいましたら、挙手願えますでしょうか。</p> <p>(挙手なし)</p> <p>いなければ、人選は事務局ということによろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、3校長ともご相談させていただいて、お願いする方の案を作って、またご報告させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>もし、立候補される方がいらっしゃいましたら、事務局まで、声かけていただければ助かります。よろしく願いいたします。</p> <p>では、次第3「その他」になります。委員の方から何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>現在の工事の進捗状況を簡単に教えていただきたいです。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>最初に小アリーナが地下部分にできるわけですが、いま根切り工事等をして、かなり深く掘っているような状況です。また、校舎側のほうも基礎になる部分を掘って、相当な土を搬出している状況になります。</p> <p>本日、久しぶりに高円寺中のほうで懇談会ができましたので、懇談会終了後にもご希望の方がいらっしゃれば、工事エリアをご案内いたします。工事エリアの中でもヘルメットを被らないで現場を見ていただけるゾーンがありますので、ご希望の方は懇談会終了後にお集まりください。</p>
委員	<p>ちなみに遅延状況とかというのは、どんな感じですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>当初計画から着工自体が約4か月程度遅れているのは、事実でございます。この間、建設建築工事の業者も、工程の短縮を図りながら進めています。ですが、今の段階で4か月の遅れを取り戻しているかと言ったら、決してそうではありません。今後も工程の短縮を考えながら工事を進めていくということになります。</p>
学校整備担当部長	<p>別件ですが、近隣の住民のほうに「工事期間中 200 平米の空き地だと避難が危ない」だとか、いかにも工事期間中、子ども達が危ないところにいるという内容のチラシが配られました。</p> <p>まず、災害時の対応については、設計の時点で東京都や消防署や学校とも全部打ち合わせが終わっていて、何かあったときは一度今の避難スペースに集まって点呼し、外へ逃げるということになっており問題ないということ。これが1点目。</p>

	<p>また、新校舎が竣工して児童・生徒が新校舎に移った時についても、「仮囲いの向こうの旧校舎側は校庭を作る工事をやっけて、広い避難場所がないのではないか」という内容がチラシに書いてあるのですけれども、それも事前に分かっていることなので、消防署としっかり打ち合わせしてあります。</p> <p>また、新しい学校の児童・生徒の収容人数に合わせて避難の時間や、避難の経路など想定して設計してあります。廊下の幅員、階段の幅員や蹴上げや踏み面は小学校1年生でも避難に支障のないようなゆったりした設計になっております。発災時は、1階の昇降口などの幾つか用意してある避難経路を通過して、敷地の周りを歩いて、そのまま外へ逃げられるようになっています。</p> <p>それから先生の誘導で近隣の公園や広域避難場所の中野の警大跡地に行くことになっています。このように工事期間中の安全性を確保するという話は、消防計画の中でしっかり出来ています。</p> <p>さらに実際に建物ができ上がって児童生徒が引っ越す前に、消防署の検査を再度受けて消防計画書の見直しをします。投函されたビラにはいかにも危ないと言う内容が書いてあるのですが、安全なように設計してありますので、その点は心配しないでいただきたいなと思っています。</p>
委員	<p>2点ございます。まず、かねてからお話ししております特別支援教育についてです。平成31年4月からは特別支援教室の設置が予定されております。それに向けて、まだ学級に関しては杉四小も杉八小も高円寺中も設置がない状況の中で、先行して設置してほしいという要望を何度かさせていただきました。その流れをしっかりとお示しいただきまして、特別支援教育を支えていく地域での共生社会の形成というのを我々も準備していかなければならないと考えております。その点をぜひお示しいただきたいと思っております。</p> <p>それから、前回に杉四小跡地を新校の運動場所の補完的な場所にしてほしいというお話もさせていただきました。この間、さまざまな運動会や体育祭などを見て、やはり新校の校庭だけでは部活等をやるにあたって、場所が足りないと思いました。</p> <p>新校ができた後、子小連携で高円寺北子供園のほうに我々が行き、そこでの連携が生まれていくといったことを考えていきますと、当然、連携教育の延長線上として運動場の補完的な活用というのが必要になってくるかと思っております。</p> <p>このところ学級園のところに保育施設が建つとか、もちろん決定事項ではないにしても、様々な話が耳に入ってきます。新校を作るにあたって、杉四小・杉八小を含めて計画を練ってきたわけですから、跡地は新しい学校に付随していくものとして、高円寺の子ども達の教育及び子育てに活用するというのを、この懇談会から区に提案をしてほしいということで、意見をさせていただきます。以上です。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>1点目のご意見の特別支援教育についてですが、特別支援教育課と3校が、教育計画の内容だったり、検討メンバーだったり、スケジュール感などについての打ち合わせを行っております。その辺の状況を、冒頭で高橋校長からご報告いた</p>

	<p>だいたというところがございました。</p> <p>跡地活用に関しましては、新校開校後の子供の教育環境という話となると、とても中身の大きな話でございます。また、新校が開校した後の、例えば放課後の活動だったり、子小連携のあり方というところでは、校庭や体育館がどのように活用されるか、非常に大切な話だと思います。学級園に関しても子小連携や児童の情操教育という部分では非常に大切な場所だとも思います。区の内部の検討の中で当然、教育委員会の意見というものも、大きく反映されると思いますので、懇談会から出た要望ということで、私どもから区の内部のほうへ伝えていきたいと思います。</p>
委員	<p>杉四小・杉八小・高円寺中の校庭等を活用して行っている地域のスポーツクラブといったものも、子育てに非常に重要な位置づけで成り立っております。これが例えば新校の校庭のみということになってしまうと、当然縮小されてしまうわけですね。やはりそういった場合はぜひ保っていただきたいということで、お願いしたいと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>それぞれの学校が新校に一本化されるわけですから、跡地の活用というのは2つの視点があると思っています。</p> <p>1つ目は区の全体の施策の中で、不足する施設をどのように、そこで補完するかという視点。もう1つは、地元のこれまでの歴史だとか活動とかを鑑みて、地域の貢献策をどうするかという視点が必要でございます。区の内部で跡地活用について検討するときには、いまお話があったとおり、その辺も十分意識して検討していくことになろうかと思っています。</p> <p>区の中でも時間が経過すると、これまでの5、6年の検討を踏まえずに様々な提案が出てきて、十分検討し切れない中で、案としてひとり歩きしてしまう場合があります。</p> <p>ただ、教育委員会としては、学校の跡地は、第一優先として子どものための施策のために使っていただきたいと思っております。</p> <p>いま説明させていただいた通り、それまで地域で活動していたクラブだとか、教育目的外の地域の活動もあるわけなので、そのスペース等は、しっかり確保してほしいと、教育委員会として区長部局に言い続けなければいけないと思っています。</p> <p>区の職員同士がしっかり意識をまとめながら、跡地活用について、計画をまとめていく話になろうかと思っています。いろいろな情報がまた皆さんに入ってしまうかもしれませんが、その辺は教育委員会のほうでも十分進行管理を注意していきますので、様子を見ていただきたいと思います。</p>
高橋委員	<p>冒頭でもお話ししましたので、繰り返しの部分はありますが、進捗状況というところで、簡単な報告をさせていただきます。</p> <p>平成31年4月の開校に向けて、今年度は平成31年度の新校の教育計画を作るというのが3校のテーマになっています。</p> <p>新校の生活指導だとか、あるいは保健指導などのすり合わせをそれぞれの担当</p>

	<p>にやってもらい、文字化できた部分もかなり出来上がってきています。それと備品関係についても、新校に持っていく備品の調整や、今年から来年にかけてどのように進めていくかということ、事務の担当が話し合いをしているところです。</p> <p>その中で、一番おおとの教育課程のたたき台を今夏に作りました。特別支援学級の教育課程と通常学級の教育課程をたたき台という形で管理職が作って先生方にもお示ししています。</p> <p>特別支援学級については、かなり丁寧にやっていないとだめだということが見えてきたので、特別支援教育課ともう少ししっかりと連絡を密にやっていないいけないと思っています。</p> <p>例えば、特別支援教育課からは杉並和泉学園と同じように検討委員会を開くと言われているのですが、そのような検討委員会のメンバーやスケジュールなどを詰めた段階で、懇談会に示した方がよいと思っています。</p> <p>また、夏から新校開校に向けての具体的な検討に入りまして、結構大変そうな部分も見えてきました。一番大きかったのは、開校初日のことです。杉並和泉学園のときは、開校初日に開校式をやって、職員の着任式をやって、始業式をやって、小学校の入学式をやる。すべてを午前中に全部詰め込むという話でした。</p> <p>恐らく新校でもこの流れで進めていかなければいけないと思うので、かなり丁寧なものを作らないといけないと思っています。ちなみに、杉並和泉学園からいろいろ情報を得て、子どもたちの誘導などをシミュレーションしてみたのですが、細かいところが厳しいです。</p> <p>学校としては新校に向けて様々な検討が具体的に進んでいますが、来年あたりは押せ押せでもっと細かいところを詰めていかないといけないと思っています。</p> <p>また、今年度の目標である 31 年度の新校の教育計画については、3 月には原案ということで懇談会にお示しできるかなと思っています。特別支援学級の教育計画も、もう少し具体的なものにするために特別支援教育課と詰めないといけないかなと思っています。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ほかの委員から何かございますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>では、以上で第 25 回懇談会を終了いたします。ありがとうございました。</p>